

1 刊王

① 職員

市役所窓口職員の対応は感じ悪い

窓口の対応は悪い

対応が悪いになった。
市民の声に対して
誠実に応える努力をしている

相談事に対して、担当者か
当事者にきくと話しして
工事など事後の報告と対応
などに対応している。

職員の対応は
個人は良い

② 行政(市の現状)

市民活動推進室から
出てきた市民団体で37
シブキが出てつた。

市民活動に協力する
姿勢が見られる

情報請求の件報道が
聞いている
情報公開室
市長への手紙 転入メール

自治基本条例の策定
に市民の意見と関係
をい入れて、その
ことについて

市民の声を聞く体制は
できている
[取組]

個人金融商品
減らす努力を
している

財政改善に力
努力は見られる

① 職員

窓口が一人のお客
さんで向かい向
いの人と長時間に
対応する

課長がむかし
役所時代に

上級職員は給料の
割に働いていない
感じがする(見えない)

職制について横の
壁とよりのない。常規取
の人数をへらす努力を
必要としている

職制と横の
横の連係は
不十分。

② 情報

公報の作成に
工夫が必要
予算案などの記事など
(わかりやすく)

HPで資料を探し時に
ファイルの名前が一目で内容が
分かるように整理してほしい。
[* 調べたURLの資料が見つけられない]

情報公開に
3) 情報の使い方

情報公開の活用
特に市役所内のお金の
使い方について無駄やムダ
を市民にわかりやすく

予算の使い方を
わかりやすく

審議会が多すぎ
お金の使い方が

市の財政について市民が
学ぶ、知る機会が
少ない。

税金の使いかたについて
解りやすく説明してほしい

③ 組織

市の職員が業務が
多いため、専任職員が
少なく、管理職の
業務に負担が大きい
専任職員を増やす

職員の配置に
人員配置に
内通あり。

専門性を高める
人員配置の

望ましい。
(適材適所)

④ 運営

例として市役所の
内部の組織
に決まった区画が
長期間

市への質問に対する回答が
解りにくい。

13
各工場の
機能の充実

~~（株主の権利）~~

改善策

1. 行政の横の連けいを密にする。
2. 専門職の育成（適材適所）
3. 市民が理解し易い情報公開（^{第12}頁）
（即政面）
4. 13地区センター市民の支援・育成・相談
機能を充実させる。

71ル-70名

71 79 716-70
(1 班)

地域社会にのりこむ前に

地域社会にのりこむ前に

国・県・市行政への

不満 国・市行政へ
生活者のみなさんが
話し合いを
スムーズに行かない

官と民の格差をなくす

立憲行政の警告
下りの回りの
解決拒否

自治法を
かきこみ
いじめる

口場のちやうど
いじめる

行政は
もろ責任を
説明

市
施設
の
管理
責任

公園内の電灯

かきこいいると、万が一
でも、なかなかかきこえない

自治会以外の
ゴジのまじわり
広報が足りない
(いつもゴジがまじりこむ)

行政自治会を
つなく人材不足

自治組織の人材
の育成不足
地域格差と
埋める努力が
なされていない

自治会の中の民主主義が壊れている
行政は力のあつ自治会長の意見
をきく

走谷市の
地域団体のありかた

地域
地域
団体

市全体に自治組織
が広がっている

職員

農政の職員さん
丁寧... 質問に答えてくださる
一部の職員さんの
とこを熱心

元職員といふ職員さん

組織内役職への
疑問もござる

取戻のラフが多
すぎる

(0) 問題解決のために

国・県・市への不満を
解決するために

各地に
若情委員会を設置
事業について行政と市民
との話し合いの場を作る

※ ので、事業活動の視座
で話し合いを行う
向きが必要がある

議員・職員から
各自治会に、月1回は
レクリエーションに来る

全この基礎です。

運動会を真に
清福にするには
何と解決を思案

伝達経路の
整備 (行政の職員は
付随)

2班

良い点



3班

制度の申請 仕組みがわかる。

予算 決算が以前より詳しく公開されている。

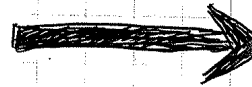
利用している制度の更新の知らせが来る

わかりやすさ

行政用語・議会用語の使用を止める

市民が理解できる言語が必要。根拠レベルの程度にのみ

日本語を正しく用い、カタカナ語を止めて欲しい。



インターネットでの情報

電子媒体(ホームページ)で多くの情報が見られる

福祉サービスを知りたい場合、親切におしえてくれる。

取りやすさ

情報の

越谷市のホームページは本当に知りたき情報が少ない

インターネットは果して上位の割合にして市民に浸透している

電子媒体に対してききい世代もある。

旧来の方法で情報入手する人が十分に入手できず

ホームページで情報共有できる

電子媒体の活用が今一歩あるが、取り組み姿勢は評価できる

市の出前講座で役所に行かなくても話が聞ける

障害者向けの対応が不十分か?

会議録等を見たい人には、閲覧室で見られる場合もある

聴覚障害の方の場合、公共施設等に手話ができる人が常時いない

審議会の傍聴人数が可能な少ない

広報等への催し物がわかる。

各エリア別の情報は又々行政代表の担当とわかると思う

役所内の情報共有

福祉サービスを知らない職員は情報を得られない

窓口対応が課題は違う

委員会等と関係の課がある

傍聴者にも資料を与える



各エリアの情報も細分化されて市民がわかりやすい

情報の分散化で共有化でき

自治体窓口がわかりやすい

制度をききにいくと、知らない職員の人の場合、たまたまあつたにあり

職員間の情報交換

福祉の所域極め難い

個人情報保護が市民間の情報共有の妨げになることも

いわゆる「隠れた情報」を山積している

各相談員が何をやっているかわからない

改善策

③ プル = 70名

日本語、特に漢字の書道教育を進めたい

回覧板はせいせい10歳先月隊度(増設が死体)

行政用語の市民語訳変換表を作る

行政の方から市民の伝わる言葉で市民と相談

若者の気をひくために、絵文字をつかう

中口見廻り隊

施策・計画を作成する際、当事者がわからない

少教派の声か埋没され他何がある

インターネットで公開する

団地にも各階に町お花見の理解者人達を増やす

出前講座の数を増やす

職員の方も手話を感じる

情報の選択市民の意思を尊重

職員の方も制度を勉強する

部課横断型のプロジェクトチームを(検討委員会)作る

予算のいじり各部門別行動にやるのは? (伊集)

民生委員さんにも何かを知らさない

市民開放型を活性化

オフラインの公募

ホームページの整理出来る環境を官民が協力して作る

個人情報保護に伴い、手上げ方式で出来る事はない

地域の方たちともあいなつて

地域の方たちとの交流をする

相談員の活やく

民生委員さんの活やく

地域のイベントへの参加